

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2005-511763(P2005-511763A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-552257(P2003-552257)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/42

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月6日(2005.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化粧品および/または薬品の日焼け防止製剤であって、

(a) 少なくとも一種の二量体ジオール、

(b) 少なくとも一種のUV光保護フィルター

を含有する製剤。

【請求項2】

OH価が200～220の少なくとも一種の二量体ジオールが存在することを特徴とする請求項1に記載の製剤。

【請求項3】

ヨウ素価が20～80の少なくとも一種の二量体ジオールが存在することを特徴とする請求項1または2に記載の製剤。

【請求項4】

少なくとも一種の油成分がさらに存在することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の製剤。

【請求項5】

少なくとも一種の乳化剤がさらに存在することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の製剤。

【請求項6】

ノニオン性乳化剤の群から選ばれる少なくとも一種の乳化剤が存在することを特徴とする請求項5に記載の製剤。

【請求項7】

アニオン性乳化剤の群から選ばれる少なくとも一種の乳化剤が存在することを特徴とする請求項5に記載の製剤。

【請求項8】

請求項1～7のいずれかに記載の製剤であって、

(a) 1～10重量%の二量体ジオール、

(b) 1～30重量%のUVフィルター、

(c) 5～30重量%の油成分、

(d) 0.1 ~ 10 重量%の乳化剤、

(e) 0 ~ 90 重量%の水

の含有量を特徴とする製剤。

【請求項 9】

少なくとも一種の保湿剤がさらに存在することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 10】

少なくとも一種の粘度調整剤がさらに存在することを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 11】

少なくとも一種の防虫剤がさらに存在することを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の製剤。

【請求項 12】

日焼け防止製剤における二量体ジオールの使用。

【請求項 13】

日焼け防止製剤の耐水性を向上するための二量体ジオールの使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

助剤および添加剤の全含有率は、本発明の製剤に対し 1 ~ 50 重量%であってよく、好ましくは 5 ~ 40 重量%である。本発明の製剤は、標準的な加熱または冷却方法により製造してよく、好ましくは、相反転温度法により製造する。

本発明の主たる態様および好ましい態様は、以下を包含する。

〔1〕化粧品および/または薬品の日焼け防止製剤であって、

(a) 少なくとも一種の二量体ジオール、

(b) 少なくとも一種のUV光保護フィルター

を含有する製剤。

〔2〕OH価が200 ~ 220の少なくとも一種の二量体ジオールが存在することを特徴とする上記〔1〕に記載の製剤。

〔3〕ヨウ素価が20 ~ 80、好ましくは50 ~ 70の少なくとも一種の二量体ジオールが存在することを特徴とする上記〔1〕または〔2〕に記載の製剤。

〔4〕少なくとも一種の油成分がさらに存在することを特徴とする上記〔1〕 ~ 〔3〕のいずれかに記載の製剤。

〔5〕少なくとも一種の乳化剤がさらに存在することを特徴とする上記〔1〕 ~ 〔4〕のいずれかに記載の製剤。

〔6〕ノニオン性乳化剤(とりわけアルキルポリグリコシド)の群から選ばれる少なくとも一種の乳化剤が存在することを特徴とする上記〔5〕に記載の製剤。

〔7〕アニオン性乳化剤(とりわけアルキルホスフェートおよびアルキルスルフェート)の群から選ばれる少なくとも一種の乳化剤が存在することを特徴とする上記〔5〕に記載の製剤。

〔8〕上記〔1〕 ~ 〔7〕のいずれかに記載の製剤であって、

(a) 1 ~ 10 重量%の二量体ジオール、

(b) 1 ~ 30 重量%のUVフィルター、

(c) 5 ~ 30 重量%の油成分、

(d) 0.1 ~ 10 重量%の乳化剤、

(e) 0 ~ 90 重量%の水

の含有量を特徴とする製剤。

〔 9 〕 少なくとも一種の保湿剤がさらに存在することを特徴とする上記〔 1 〕 ~〔 8 〕のいずれかに記載の製剤。

〔 1 0 〕 少なくとも一種の粘度調整剤がさらに存在することを特徴とする上記〔 1 〕 ~〔 9 〕のいずれかに記載の製剤。

〔 1 1 〕 少なくとも一種の防虫剤がさらに存在することを特徴とする上記〔 1 〕 ~〔 1 0 〕のいずれかに記載の製剤。

〔 1 2 〕 日焼け防止製剤における二量体ジオールの使用。

〔 1 3 〕 日焼け防止製剤の耐水性を向上するための二量体ジオールの使用。